

## 会 長 挨拶

国立大学教育実践研究関連センター協議会  
会長 下村 勉 (三重大学)

平成25年度、26年度のセンター協議会会長を務めさせていただく下村です。前会長園屋高志先生（鹿児島大学）より引継ぎ、平成23年4月に着任し、2期目に当たります。微力ながら、センター協議会の発展に向けて努力する所存ですので、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

国立大学教育実践研究関連センター協議会（以下「センター協議会」）は、全国の国立大学法人教員養成大学・学部の教育実践総合センターをはじめ、関連するセンター等で構成されている協議会です。本協議会は、「センター相互の協力により、教育実践・教育臨床研究および教育工学に関する研究を行い、教育の発展をはかること」を目的としています。毎年2回総会を開催しておりまして、平成26年2月の東京学芸大学での総会で84回目を迎えます。およそ40年間にわたり、センター協議会加盟機関の皆様方が教員養成、現職教育等に関わるさまざまな課題に対応した研究や活動に精力的に取り組まれ、おかげさまで、多くの成果をあげてまいりました。

年2回のセンター協議会、年1回のセンター協議会年報の発行、メーリングリスト、センター協議会のホームページなどを利用した情報交換などをベースに、これまで各種の共同事業も行ってきました。たとえば、共同研究プロジェクトの実施（教育方法改善経費、科学研究費、現代GPなど）、研究成果の出版・DVD教材の開発、SCSによる遠隔共同講義の実施、UNESCO-APEIDやJICA事業への国際協力などがあげられます。現在は、3つの部門会議（教育臨床部門、教育実践・教師教育部門、教育工学・情報教育部門）を中心とした活動が定着していますが、不登校・いじめ問題やカウンセリング、教職実践演習や免許更新講習、デジタル教科書や学びのイノベーション、地域連携や地域支援など今日的課題は山積しています。

センター協議会が長年培ってきた経験・実績の上に、さらなる継続・発展のためには、センター協議会加盟機関のさらなる連携・協力が欠かせません。ぜひ、このセンター協議会ホームページを活用して、様々な情報交換が行われ、教員養成及び現職教育等に寄与できることを強く願っております。

今後ともどうぞよろしくご支援ご協力をお願い申し上げます。

(平成25年12月4日)